

大笹の関所・抜道の碑

旧大笹村宿場のかつての賑わいを現在に伝える

■■■人々の暮らし■■■

大笹の関所は、江戸時代に険しい山岳地帯の要衝を結んだ仁礼街道の通行人を取り締まるために設置されました。現在は復元された門扉があり、大笹の宿場町のかつての賑わいを伝える史跡となっています。また、当時の関所は特に女性の通行には厳しかったため、関所を迂回する「女道」と呼ばれる抜道が存在しました。抜道の存在を示すための石碑は今も残っており、当時の庶民の暮らしを知ることができます。



現在の大笹関所跡



抜道の碑(石碑)